

白川渡鹿地区の川づくり 子飼橋付近

白川を教室 白川を学習材に

渡鹿地区の川づくりは、「子供たちが遊べる水辺」「親しみやすい川」を目指し、また魚や水生生物の休憩場所としての機能を併せ持った水辺づくりです。地域の方々の「渡鹿地域川づくり勉強会」を発端に、学習会が重ねられ、地域の皆さんの意見を取り入れながら出来上がったことに大きな意義があると思います。今後地域や学校での利用に期待がもてます。



単元「流れる水のはたらき」(5年理科)の学習に最適。わくわくランドに設置の模型による実験と実際の川の様子と一緒に観察できます。左岸の河原では石遊び、水質調査など、学習目的で多様に利用できます。



小碓橋下流、左岸に出来ている水辺は3月完成予定です。ワンドや水制のほか多目的広場や散策路をもった施設です。新学期から早速利用ください。

ワンドとは
○ 川沿いにある入り江のことで、川の生き物の住処や隠れ家になる。浅いのでワンド内の生物調査や水遊びができます。



緩やかで近づきやすい水際の整備

(イメージ図)

第2期 白川わくわく塾(白川と人々の営み・想い)

第1回
たつみや章 児童文学作家

題 白川草紙
—白川の伝承・昔話—

たくさんの神話や民話を紹介していただきながらその読み方に一つの示唆をいただきました。これらを読む時に、その物語の背景や歴史的な事実を考えながら読むということです。

そのような視点から建盤龍命の話、阿蘇の君・火の君の話、淵にまつわる話、内牧の仙女橋の話、一の宮町のなばのなき塚の話等々ありました。

単なる昔話と思っていたものに息を吹き込まれたおもいでした。

第2回
新宅 咲雄 子飼商店街振興組合
専務理事

題 子飼商店街と
周辺の文化・歴史

人情豊かな粋な子飼商店街、そしてその周辺の歴史や文化について興味深い話がありました。「子飼」の名前の由来から始まって、現在の商店街の事業や在り方に至るまでこの地を踏んだ古・先人の人々の息遣いを感じるおもいでした。

現在商店街は、教育・文化事業への移行により、次の世代に引き継ぐ街づくりを目指し、学校からの体験学習などにも積極的に協力されております。

国土交通省 ホームページ
「川で遊ぼう」開設

<http://www.kawamanabi.river.go.jp>

川は身近で貴重な自然体験の場。川のもつ教育力を、学校教育に大いに利用してください。

このホームページは、「川の学習」の考え方、カリキュラム、事例集、川の学習素材サーチなどのメニューから成り、水質検査や野鳥観察などすぐ使えるワークシートも満載です。是非一度開いてみて下さい。

白川流域住民交流センター利活用懇談会メンバー紹介

大園 光 先生
(熊本シティエフエム)



川遊びが大好きで、子供の頃は近くの小さな川で釣りをしたり、泳いだり、時には河童に足を引っ張られたりしていました。わくわくランドの広報の手伝いをしています。

鶴山 敏哉 先生
(熊本日日新聞社)



毎年夏休みに、白川や緑川などで川の自然や文化を学ぶ「熊日親子流域探検隊」を行っております。川に入ってみることで日常とは違う世界を体感できるはずですよ。

川野 由紀子先生
(女性の会白川世話人)



くまもと川の女性フォーラムは、川について勉強会や流域探訪を各流域で行い、年に一度フォーラムを開催して、日頃の活動の情報交換を行っています。参加してみませんか。